

第49回 東京・第50回 大阪 スガウエザリング学術講演会のお知らせ

〔第49回 東京〕 開催日：平成21年11月11日（水）
会 場：アルカディア市ヶ谷（富士の間）

〔第50回 大阪〕 開催日：平成21年11月13日（金）
会 場：大阪国際会議場 10階会議室
（グランキューブ大阪）

後 援：文部科学省
協 賛：（社）高分子学会 （社）色材協会 （社）自動車技術会 （社）日本ゴム協会
（財）日本ウエザリングテストセンター 日本プラスチック工業連盟 （社）表面技術協会
（社）腐食防食協会 スガ試験機（株）

主 催： 財団法人 スガウエザリング技術振興財団

■ プログラム

テーマ 未来を担うウェザリング技術

開催 期日 会場 時間割	東京 (第49回)	大阪 (第50回)
	平成21年11月11日 (水) アルカディア市ヶ谷 (富士の間) 〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25 TEL03-3261-9921	平成21年11月13日 (金) 大阪国際会議場 (グランキューブ大阪) 10階会議室 〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51 TEL06-4803-5555
9:50~10:00	開会の挨拶 理事 須賀茂雄	
[1] 10:00~10:40	自動車耐食寿命予測技術の動向と今後の展開 ～腐食モニタリング技術、腐食促進試験法 による実車寿命予測技術～ JFEスチール株式会社 スチール研究所 主席研究員 (部長) 藤田 栄	30年超高耐久および30年美観光触媒の 耐久性評価と特殊酸化チタンの光触媒反応機構 旭化成ケミカルズ株式会社 機能性コーティング事業部 次長 山松節男
[2] 10:40~11:20	30年超高耐久および30年美観光触媒の 耐久性評価と特殊酸化チタンの光触媒反応機構 旭化成ケミカルズ株式会社 機能性コーティング事業部 次長 山松節男	自動車耐食寿命予測技術の動向と今後の展開 ～腐食モニタリング技術、腐食促進試験法 による実車寿命予測技術～ JFEスチール株式会社 スチール研究所 主席研究員 (部長) 藤田 栄
[3] 11:20~12:00	様々な水と純水精製技術、耐候性試験への影響 日本ミリポア株式会社 ラボラトリーウォーター事業本部 金沢旬宣	
12:00~13:00	休憩 (昼食付)	
[4] 13:00~13:40	有機EL材料と今後の展開 新日鐵化学株式会社 常務執行役員 機能商品開発事業部長 伊藤 叡	
[5] 13:40~14:40	Weathering Test Methods for Solar Materials (通訳付) AZTEST (アリゾナ暴露試験場) President Joe Robbins	
14:40~14:50	休憩	
[6] 14:50~15:30	自動車用塗膜の耐久劣化による変色現象とその評価について 日産自動車株式会社 要素技術開発本部 材料技術 高分子・機能表面材料グループ 横山博志	
[7] 15:30~15:50	金属腐食と防食システム 東京工業大学 名誉教授 評議員会議長 春山志郎	

(敬称略)

16:00~17:30 終了後、講師を囲んで懇親会 (スガ試験機 (株) 主催) を予定。

■ 参加方法

- 参加費 講演会聴講：無料 (昼食付)
懇親会：有料 2,000 円 (消費税込み)

- 参加登録制 定員 350 名

- 申込み方法 参加登録をご希望の方は、当財団 Web サイト (www.swtf.or.jp) より参加申込みフォームにてお申込み下さい。
登録完了後ご返信いたします。(定員になり次第締切りとさせていただきます。)
尚、FAXでお申込みをご希望の方は、裏面の参加申込書をご利用下さい。

- 事務局 東京会場…………… (財)スガウェザリング技術振興財団 tel 03-3354-5248 fax 03-3354-5275
〒160-0022 新宿区新宿 5-4-14 E-mail: info@swtf.or.jp
- 大阪会場…………… (財)スガウェザリング技術振興財団 tel 06-6386-2691 fax 06-6386-5156
〒564-0053 大阪府吹田市江の木町 3-23 E-mail: osaka@swtf.or.jp

■ 講演概要

〔1〕山松節男 (Setsuo Yamamatsu)

下地塗料を傷める機能だけを選択的に無くした特殊酸化チタンを上手に塗料化。従来型の光触媒は耐久性15年が限界のところを保護層を使用しないで、業界待望の30年耐久&美観の理想の光触媒「デュラ光」を実現。特殊酸化チタン光触媒反応の興味深い作用機作と耐久性を4つの視点、①「化学的耐久性」、②「物理的耐久性」、③「機械的耐久性」、④「光触媒機能の持続性」から合理的にかつ納得のいくまで検証した結果を紹介する。

〔2〕藤田 栄 (Sakae Fujita)

筆者らは、ACM型腐食センサを自動車車両に初めて搭載し、車両各部位の表面処理鋼板の腐食をリアルタイムで計測する技術を開発した。これにより世界的に拡大している自動車市場環境における車両腐食マップを構築することを可能にした。さらに、各種環境における実車腐食を再現するために自動車メーカー各社各様に規格化されている自動車腐食促進試験法を用いることによる実車腐食予測技術について述べる。

〔3〕金沢旬宣 (Masanori Kanazawa)

純水は耐候性試験において模擬降雨や加湿などの役割を担っている。純水装置は地域差や上水処理前の原水(河川、井戸、湖沼)の影響で、幅広くかつ様々な性状を示す水道水を、高純水まで精製する必要がある。一概に純水処理といっても様々な精製方法があり、その違いによりそれぞれ特徴的な水質を示す。本発表では水道水の特徴と地域による違い、その不純物の精製技術と対策、シリカを代表とする不純物が耐候性試験に及ぼす影響などを解説する。

〔4〕伊藤 叡 (Satoshi Ito)

有機EL(エレクトロルミネッセンス)は、新たなディスプレイ、光源として最近注目を浴びている。自発光材料であり、薄い高輝度省エネルギーディスプレイとして期待されている。光源としては無機系の半導体発光ダイオード(LED)が‘点光源’であるのに対して、‘面の光源’として期待されている。有機EL発光には蛍光と燐光があり後者は前者の4倍の高効率省エネルギー発光体となる。いずれもπ電子を有する導電性有機物質がキーとなっている。この中で当社は近年期待の大なる燐光系素子材料の開発を進めており、この状況について述べる。

〔5〕Joe Robbins

The use of solar energy has captivated the world with its potential to reduce the world's dependence on fossil fuels. This technology is available now. However, because solar energy products have a high initial cost, these products must function for many years to be competitive on an economic basis. In this paper, various test methods will be presented for determining the weathering durability of solar materials. This will be discussed for the two main types of solar energy products - solar photovoltaics and solar thermal.

太陽エネルギーは、現代社会の化石燃料への依存度を下げるエネルギー源として世界から注目を集め、その技術は既に実用段階に入っている。しかし、太陽エネルギー製品は初期費用が高く、長期間機能を維持できないと経済面において十分な競争力を得る事ができない。本講演では、太陽光発電とソーラーサーマルの二つの主要太陽エネルギー製品を中心に、太陽素材の耐候性を測定する様々な試験方法を紹介する。

〔6〕横山博志 (Hiroshi Yokoyama)

自動車用外装塗膜は熱、紫外線、水、鳥糞などの大気降下物の種々外的要因の影響に晒される。このような外的要因により発生する自動車塗膜の変色現象について、紫外線による変色およびそれ以外の要因(熱黄変、ゴム接触黄変)による変色の発生メカニズムとその評価について、事例に基づき解説する。

〔7〕春山志郎 (Shiro Haruyama)

腐食損失額は防食対策費の増加と共に減少する。腐食損失額を見積もるのは困難であるが、防食対策費(1997)は約3.9兆円と言われている。防食対策は、対象により異なるが、腐食教育、材料選択、定期検査を含む一般的な防食システムを考案することができる。ウェザリングは材料選択の有効な方法であるが、腐食の機構を明らかにするものではない。そのため、電気化学、金属学による解析が必要である。

■ **参加申込書** (FAXでお申し込みの場合は、こちらをご利用ください。)

スガウェアリング技術振興財団 行

(東京)FAX 03-3354-5275

(大阪)FAX 06-6386-5156

聴講会場 (無料)	東京 (11月11日) ・ 大阪 (11月13日) (いずれかに○印下さい)
懇親会 (有料)	参加する ・ 参加しない (いずれかに○印下さい)
ご勤務先	
ご勤務先住所	〒 都道 府県
T E L	
F A X	
ご所属	
ふりがな ご氏名	
電子メール	(参加登録のご連絡をいたしますので、必ずご記入下さい。)

当日は、ご名刺を受付にお示し下さい。

■ **懇親会費の支払方法**

当日、懇親会場受付にて現金 2,000 円 (消費税込み) をお支払下さい。

主催：スガ試験機株式会社 東京都新宿区新宿 5-4-14 Tel 03-3354-5241 / fax 03-3354-5275

■ **会場のご案内**

東京会場

〔アルカディア市ヶ谷 (富士の間) 〕
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25 Tel 03-3261-9921



- 東京メトロ地下鉄有楽町線・南北線 市ヶ谷駅A1-1 出口
- 都営地下鉄新宿線市ヶ谷駅A1-1 またはA4 出口
- JR 中央線 (各駅停車) 市ヶ谷駅

上記各出口から徒歩約 2 分

大阪会場

〔大阪国際会議場 (グランキューブ大阪) 10 階会議室 〕
〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51 Tel 06-4803-5555



- 京阪中之島線中之島 (大阪国際会議場) 駅前
- JR 大阪駅前ターミナルから、大阪市営バス (53 系統 船津橋行) または (55 系統 鶴町四行) で 15 分堂島大橋バス停下車すぐ
- JR 大阪環状線福島駅から徒歩約 10 分
- JR 東西線新福島駅 (2 番出口) から徒歩約 10 分
- 阪神電鉄福島駅から徒歩約 10 分
- 大阪市営地下鉄阿波座駅 (中央線 1 号出口・千日前線 9 号出口) から徒歩約 10 分

シャトルバスがリーガロイヤルホテルと各ターミナル (JR 大阪駅中央北口、地下鉄・京阪淀屋橋 西詰) の間で運航されておりご利用いただけます。